

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2026年第28週
(7月6日～7月12日)

- * 2026年7月15日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は月報告（2026年6月）及び
感染症豆知識「動物への対策も求められるSFTS
（重症熱性血小板減少症候群）」も掲載しています。
- * 次回は2026年7月23日に発行予定です。

令和8年(2026年)7月16日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213（直通）
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類）

2026年28週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		25週	26週	27週	28週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	36	30	38	47	1,114
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}					
	中東呼吸器症候群 ^{*2}					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
	鳥インフルエンザ(H7N9)					
三類	コレラ					
	細菌性赤痢	1		1		14
	腸管出血性大腸菌感染症	11	14	15	14	169
	腸チフス		1			7
	パラチフス		1			2
四類	E型肝炎	2	5	7	2	101
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎	6	5	7	4	61
	エキノコックス症					
	エムポックス	2	5	4	3	71
	黄熱					
	オウム病					
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症			1		3
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}					1
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱					1
	つつが虫病					
	デング熱		2	1		14
	東部ウマ脳炎					
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)					

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		25週	26週	27週	28週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					1
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア	1		1	1	6
	野兔病					
	ライム病					
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
	レジオネラ症	6	4	8	4	84
	レプトスピラ症					2
	ロッキー山紅斑熱					

2026/7/15集計

(全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類)

＜二類感染症＞

結核 47件 患者 23件(肺結核 11件、その他の結核 8件、肺結核及びその他の結核 4件)、無症状病原体保有者 24件、年齢は10代 2件、20代 3件、30代 3件、40代 3件、50代 5件、60代 3件、70代 9件、80代 16件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 32件、国外不明 1件、不明 14件であった。

＜三類感染症＞

腸管出血性大腸菌感染症 14件 患者 9件、無症状病原体保有者 5件、血清型・毒素型はO91 VT1 1件、O103 VT1 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT1 1件、O157 VT2 5件、O型別不明 VT1 3件、O型別不明 VT2 2件、年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 4件、30代 2件、40代 2件、60代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 10件、不明 4件、推定感染経路は経口感染 8件、不明 6件であった。

＜四類感染症＞

E型肝炎 2件 患者 2件、年齢は30代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。
A型肝炎 4件 患者 4件、年齢は20代 2件、30代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 2件、同性間性的接触 2件、A型肝炎ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 3件であった。
エムボックス 3件 患者 3件、遺伝的系統群はクレード I b※ 2件、クレード II 1件、性別は男性 3件、年齢は30代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は接触感染 3件であった。
※組換え体(クレード I とクレード II の遺伝的要素を併せもつ株)が含まれる可能性がある
マラリア 1件 患者、病型は熱帯熱、年齢は10代、推定感染地はガーナであった。
レジオネラ症 4件 患者 4件、病型は肺炎型 4件、年齢は60代 2件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、中国 1件、不明 1件、推定感染経路は水系感染 2件、その他1件、不明 1件であった。

＜五類感染症＞

アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触であった。
ウイルス性肝炎 1件 病型はB型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 5件 病原菌は*Klebsiella pneumoniae* 1件、*Escherichia coli* 1件、*Citrobacter freundii* 1件、*Enterobacter cloacae* 2件、年齢は40代 1件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 4件、インド 1件、推定感染経路は医療器具関連感染 1件(中心静脈カテーテル)、その他 1件、不明 3件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類）

2026年28週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		25週	26週	27週	28週	年累計
五 類 （ 全 数 届 出 ）	アメーバ赤痢	1	2	1	1	52
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	1	1		1	24
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	5		5	68
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)					5
	急性脳炎 *1	1	1	2	1	23
	クリプトスポリジウム症					1
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1	1	9
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	3	3	2	72
	後天性免疫不全症候群	7	4	10	6	152
	ジアルジア症				1	8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	1	1	2	46
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1				5
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	7	1	180
	水痘(入院例に限る)	5	3	2		64
	先天性風しん症候群					
	多剤耐性緑膿菌感染症 *2	1	1	3		17
	梅毒	67	56	67	41	1,486
	播種性クリプトコックス症	1				11
	破傷風			1		5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				2	7
	百日咳	17	12	12	9	464
	風しん					1
	麻しん	2	2			264
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1			3
2026/7/15集計						

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2026年4月6日より追加指定された。

急性脳炎 1件 病原体はインフルエンザウイルスA型、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 病型は孤発性-古典型CJD、年齢は80代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 血清群はA群 1件、G群 1件、年齢は20代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は創傷感染 1件、不明 1件であった。

後天性免疫不全症候群 6件 病型はAIDS 1件、無症候性キャリア 5件、性別は男性 6件、AIDS患者の年齢は30代 1件、無症候性キャリアの年齢は20代 2件、30代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 5件、中国 1件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 3件、異性間 2件)、不明 1件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件 血清型は未実施 2件、年齢は70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路はその他1件、不明 1件、ヒブワクチン接種歴は不明 2件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価1回・23価1回接種済みであった。

梅毒 41件 患者 33件(早期顕症梅毒 I 期 18件、早期顕症梅毒 II 期 15件)、無症状病原体保有者 8件、性別は男性 32件、女性 9件、年齢は10代 2件、20代 14件、30代 10件、40代 6件、50代 5件、60代 3件、80代 1件、推定感染地は国内 30件、不明 11件、推定感染経路は性的接触 35件(同性間 10件、異性間 22件、性別不明 3件)、不明 6件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2件 遺伝子型は未実施 2件、年齢は60代 2件、推定感染地は不明 2件、推定感染経路はその他 1件、不明 1件であった。

百日咳 9件 年齢は1～4歳 5件、10代 2件、20代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 7件、不明 2件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回以上接種済み 4件、3回接種済み 2件、不明 3件であった。

※ 第24週で報告のあった〔五類〕急性弛緩性麻痺 1件は削除された。

※ 第24週該当として〔五類〕梅毒 4件の追加報告があった。

※ 第27週該当として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件、〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2026年28週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2026年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		25週	26週	27週	28週		
小児科	RSウイルス感染症	41	48	51	54	264	264
		0.16	0.18	0.19	0.20		
	咽頭結膜熱	131	141	91	76		
		0.50	0.53	0.34	0.29		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	419	382	309	279		
		1.59	1.45	1.17	1.06		
	感染性胃腸炎	1,468	1,339	1,324	1,196		
		5.56	5.07	5.02	4.53		
	水痘	68	104	93	75		
		0.26	0.39	0.35	0.28		
	手足口病	951	1,664	3,093	3,783		
		3.60	6.30	11.72	14.33		
	伝染性紅斑	8	5	8	22		
		0.03	0.02	0.03	0.08		
	突発性発しん	108	98	103	75		
		0.41	0.37	0.39	0.28		
ヘルパンギーナ	235	409	721	905			
	0.89	1.55	2.73	3.43			
流行性耳下腺炎	14	8	12	13			
	0.05	0.03	0.05	0.05			
川崎病 *1	5	1	1	2			
	0.02	0.00	0.00	0.01			
不明発しん症 *1	16	20	20	14			
	0.06	0.08	0.08	0.05			
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ *2	24	23	78	58	418	419
		0.06	0.06	0.19	0.14		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	57	67	94	107		
		0.14	0.16	0.22	0.26		
	急性呼吸器感染症 (ARI)	20,121	20,431	21,384	22,168	418	
		48.14	48.88	51.16	53.03		
眼科	急性出血性結膜炎	1		1		39	39
		0.03		0.03			
	流行性角結膜炎	24	15	13	24		
0.62		0.38	0.33	0.62			
基幹	細菌性髄膜炎 *3		1			25	25
			0.04				
	無菌性髄膜炎		3	1	2		
			0.12	0.04	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	3	2	3	4		
		0.12	0.08	0.12	0.16		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			1	1		
				0.04	0.04		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4	1	1	2				
	0.04	0.04	0.08				
インフルエンザ入院			2	1			
			0.08	0.04			
COVID-19入院	8	10	3	10			
	0.32	0.40	0.12	0.40			
2026/7/15 11:00集計							

2026/7/15 11:00集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

黒太字表記:注意報レベル

赤太字表記:警報レベル

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 手足口病の定点当たり報告数は14.33と増加しています。島しょを除く30保健所が警報基準を超えています。ヘルパンギーナの定点当たり報告数も引き続き増加傾向です。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2026年28週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
～5か月	4			25		53			3			
6～11か月	10	5	2	132	1	440	2	16	89		1	1
1歳	27	27	18	150	5	1,693	7	34	287			5
2歳	8	14	22	122	4	904	2	17	252	1	1	2
3歳	3	9	25	96	6	278	1	3	88	2		3
4歳	1	12	31	87	7	147	2	3	71	1		1
5歳		3	39	76	5	99		1	42	1		1
6歳			33	66	6	57	2		21	2		
7歳	1	1	25	50	6	28	1		14	3		
8歳		2	20	57	10	18	3		7			
9歳			12	40	6	11			4	2		
10～14歳		1	32	158	18	14	1	1	10	1		
15～19歳			8	36		4			3			
20～29歳		2	12	101	1	37	1		14			1
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	54	76	279	1,196	75	3,783	22	75	905	13	2	14
先週比	3	-15	-30	-128	-18	690	14	-28	184	1	1	-6

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
～5か月	1	2	1,866									
6～11か月		2			1							
1歳		4	10,032					1				2
2歳	1	1			1							
3歳	3	2										
4歳	3	7			1							1
5歳	3		3,579					1				
6歳	3	1			2							
7歳	1	4						1				1
8歳	1	4			1							1
9歳	1	2	1,794									
10～14歳	17	14						1	1			1
15～19歳	2	10	650									
20～29歳	5	9	696		3		1					
30～39歳	5	7	848		7							
40～49歳	5	10	765		3							
50～59歳	5	13	733		2							
60～69歳		7	522		1							1
70～79歳		5	407		2							
80歳以上	2	3	276				1				1	3
合計	58	107	22,168		24		2	4	1		1	10
先週比	-20	13	784	-1	11		1	1		-2	-1	7

注:急性呼吸器感染症(ARI)の10歳未満は「0歳」「1～4歳」「5～9歳」と読み替える。

眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2026年28週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田				2.33		7.00			1.67			
中央区	0.33		0.33	4.00		12.33			3.00			
みなと	0.17	0.83	0.50	2.33	0.33	13.83	0.17	0.67	2.00			0.50
新宿区	0.13		0.38	2.50		5.13	0.13	0.13	1.38			0.13
文京	0.25	0.50	0.75	1.50		24.75		0.75	2.00	0.25		
台東			1.00	12.25	0.50	18.00	0.25	0.50	5.75			
墨田区			1.60	1.20		10.00		0.20	3.20			
江東区	0.11	0.33	0.44	7.56	0.11	17.89		0.22	4.11	0.22		
品川区	0.25		0.88	3.25	0.25	6.25		0.13	3.50			
目黒区			1.00	1.40	0.20	13.40	0.40	0.40	2.00			
大田区	0.69	1.54	0.77	7.38		8.15		0.23	2.23			
世田谷	0.19	0.31	0.81	5.94	0.13	13.44	0.44	0.50	3.31			0.06
渋谷区	0.25		0.25	11.00	0.50	9.00			1.75			
中野区			1.67	4.17	0.83	21.50		0.67	3.00	0.17		
杉並	0.09	0.09	0.36	1.64		8.55	0.09	0.09	2.36		0.09	
豊島区			1.40	1.60		10.20			5.60			
北区		0.29	0.86	2.43		21.29		0.29	2.00			
荒川区	0.50	0.75	3.00	4.75	0.75	18.00		1.00	1.50			
板橋区			0.50	3.10	0.40	8.90		0.10	1.50	0.10		0.20
練馬区	0.23	0.54	1.85	4.38	0.46	19.15		0.15	4.54			0.23
足立	0.38	0.69	1.54	4.69		8.62		0.54	2.38		0.08	
葛飾区			0.38	2.38	0.13	10.13	0.13	0.13	2.00			0.13
江戸川	0.50		2.17	4.08	0.50	14.42		0.17	3.83			
八王子市	0.36	0.09	1.55	6.73	0.73	30.27	0.18	0.18	5.45	0.09		
町田市		0.13	1.75	13.00	1.63	35.13	0.13	0.63	12.63	0.13		
西多摩		0.13	0.38	2.00	0.25	6.75		0.25	1.38			0.13
南多摩	0.33		0.56	4.00	0.11	8.78	0.11	0.56	2.67	0.22		
多摩立川	0.07		1.00	2.79	0.43	10.29	0.14		2.79			
多摩府中	0.24	0.52	1.10	3.05	0.10	14.10	0.10	0.19	4.67	0.14		0.10
多摩小平	0.27	0.33	1.33	7.27	0.40	23.87		0.40	4.33	0.07		
島しょ			4.00			1.00						

東京都	0.20	0.29	1.06	4.53	0.28	14.33	0.08	0.28	3.43	0.05	0.01	0.05
-----	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	0.25	0.25	38.25									
中央区	0.20	0.20	36.00									
みなと		0.22	45.11									
新宿区	0.25	0.42	29.92		0.50						0.50	0.50
文京	0.14	0.14	82.29									
台東			70.14									
墨田区	0.38	0.38	16.13					1.00				
江東区	0.36		52.07									
品川区	0.08	0.17	33.33									
目黒区	0.13	0.38	30.38									
大田区	0.05	0.05	35.52									
世田谷	0.04	0.24	56.60		0.50			0.50				1.00
渋谷区		0.14	43.57									
中野区		0.40	95.40									
杉並		0.18	27.88		1.00							1.00
豊島区	0.25	0.13	54.00		3.00							
北区		0.18	36.18									
荒川区		0.14	70.43									
板橋区		0.20	36.33		0.50							
練馬区	0.19	0.57	50.90		0.50							
足立	0.20	1.00	56.05		2.50							
葛飾区		0.31	43.38									3.00
江戸川		0.32	53.16		0.50							
八王子市	0.06	0.11	111.44		1.50							
町田市	1.77	0.23	120.08									
西多摩			22.71					1.00				
南多摩	0.07	0.14	52.14									
多摩立川	0.05	0.24	31.90		3.50							
多摩府中	0.03	0.12	61.88				0.33					
多摩小平	0.13	0.39	69.61				0.50	0.50	0.50			1.00
島しょ			24.00									

東京都	0.14	0.26	53.03		0.62		0.08	0.16	0.04		0.04	0.40
-----	------	------	-------	--	------	--	------	------	------	--	------	------

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2026年28週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田				7		21			5			
中央区	1		1	12		37			9			
みなと	1	5	3	14	2	83	1	4	12			3
新宿区	1		3	20		41	1	1	11			1
文京	1	2	3	6		99		3	8	1		
台東			4	49	2	72	1	2	23			
墨田区			8	6		50		1	16			
江東区	1	3	4	68	1	161		2	37	2		
品川区	2		7	26	2	50		1	28			
目黒区			5	7	1	67	2	2	10			
大田区	9	20	10	96		106		3	29			
世田谷	3	5	13	95	2	215	7	8	53			1
渋谷区	1		1	44	2	36			7			
中野区			10	25	5	129		4	18	1		
杉並	1	1	4	18		94	1	1	26		1	
豊島区			7	8		51			28			
北区		2	6	17		149		2	14			
荒川区	2	3	12	19	3	72		4	6			
板橋区			5	31	4	89		1	15	1		2
練馬区	3	7	24	57	6	249		2	59			3
足立	5	9	20	61		112		7	31		1	
葛飾区			3	19	1	81	1	1	16			1
江戸川	6		26	49	6	173		2	46			
八王子市	4	1	17	74	8	333	2	2	60	1		
町田市		1	14	104	13	281	1	5	101	1		
西多摩		1	3	16	2	54		2	11			1
南多摩	3		5	36	1	79	1	5	24	2		
多摩立川	1		14	39	6	144	2		39			
多摩府中	5	11	23	64	2	296	2	4	98	3		2
多摩小平	4	5	20	109	6	358		6	65	1		
島しょ			4			1						

東京都合計	54	76	279	1,196	75	3,783	22	75	905	13	2	14
-------	----	----	-----	-------	----	-------	----	----	-----	----	---	----

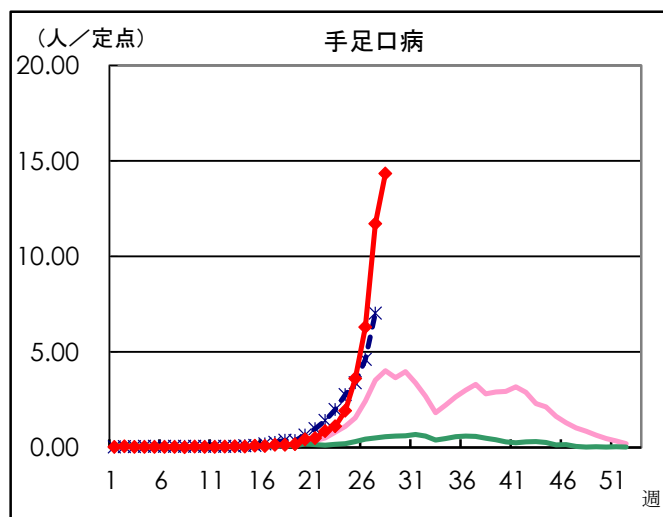
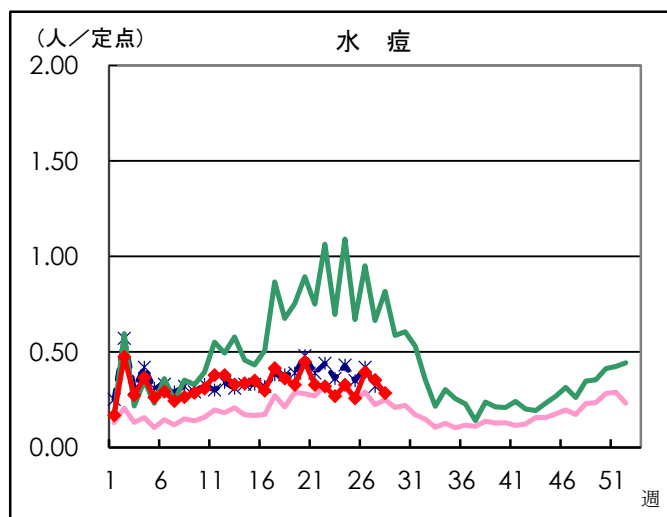
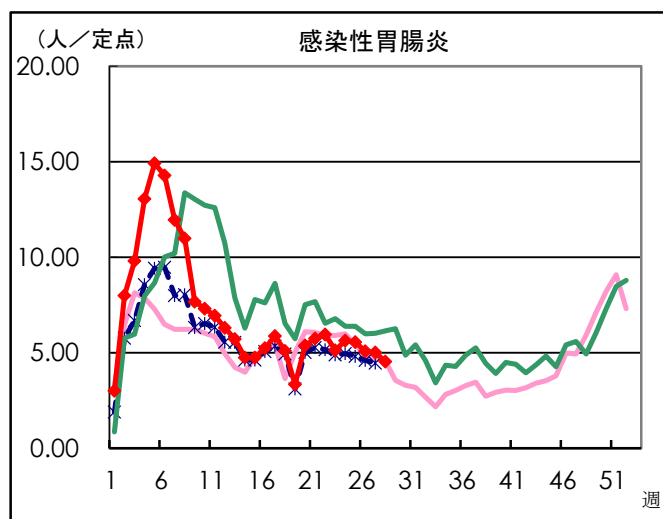
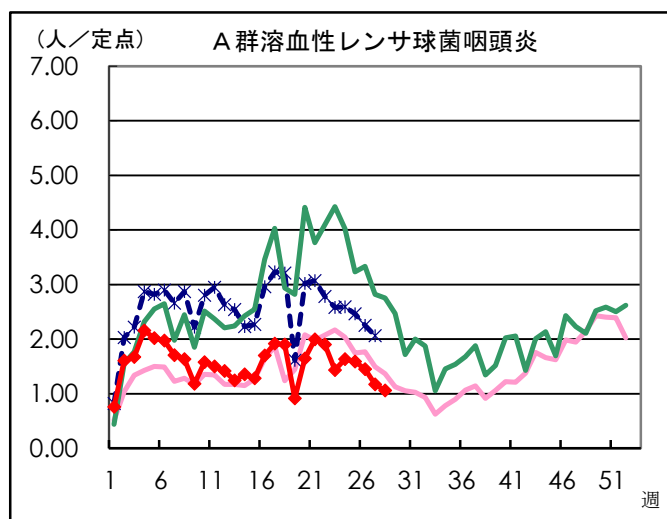
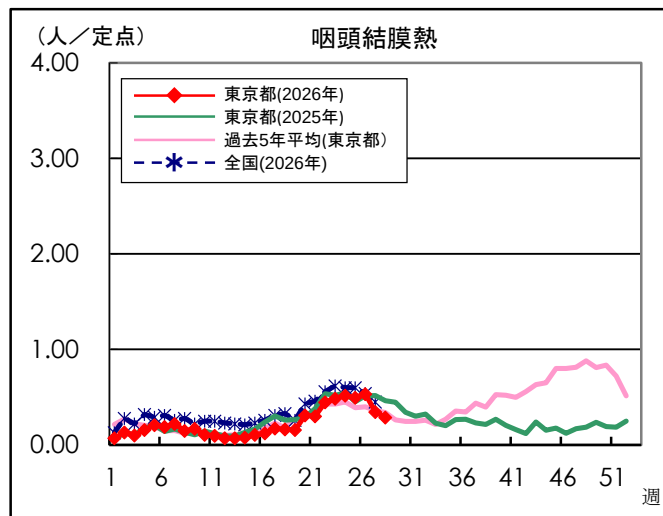
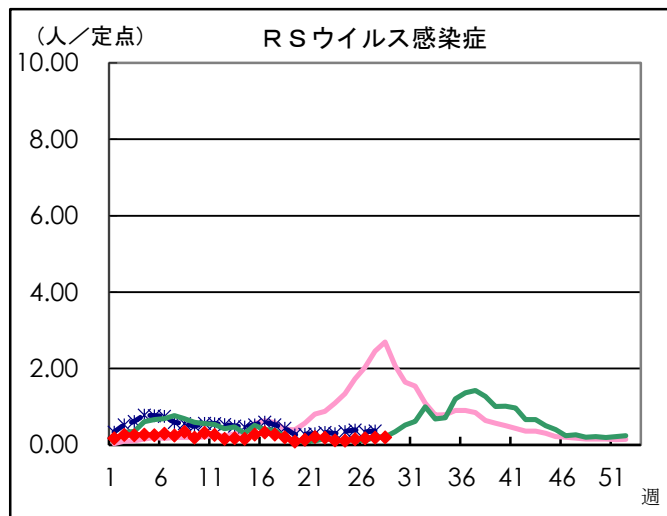
	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	1	1	153									
中央区	1	1	180									
みなと		2	406									
新宿区	3	5	359		1						1	1
文京	1	1	576									
台東			491									
墨田区	3	3	129					1				
江東区	5		729									
品川区	1	2	400									
目黒区	1	3	243									
大田区	1	1	746									
世田谷	1	6	1,415		1			1				2
渋谷区		1	305									
中野区		4	954									
杉並		3	474		1							2
豊島区	2	1	432		3							
北区		2	398									
荒川区		1	493									
板橋区		3	545		1							
練馬区	4	12	1,069		1							
足立	4	20	1,121		5							
葛飾区		4	564									3
江戸川		6	1,010		1							
八王子市	1	2	2,006		3							
町田市	23	3	1,561									
西多摩			318					1				
南多摩	1	2	730									
多摩立川	1	5	670		7							
多摩府中	1	4	2,042				1					
多摩小平	3	9	1,601				1	1	1			2
島しょ			48									

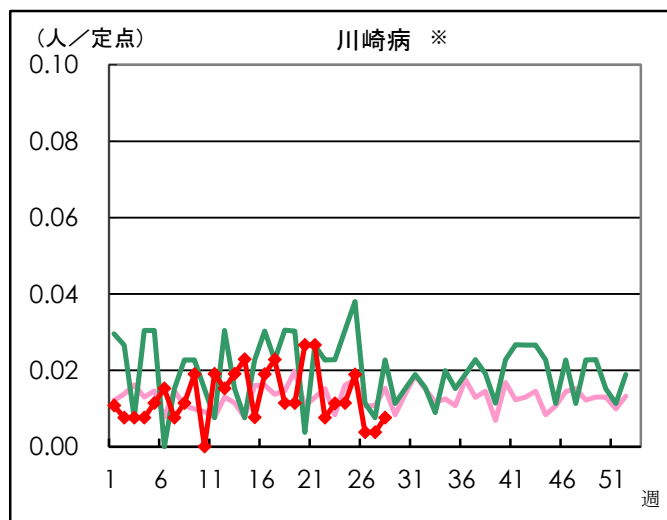
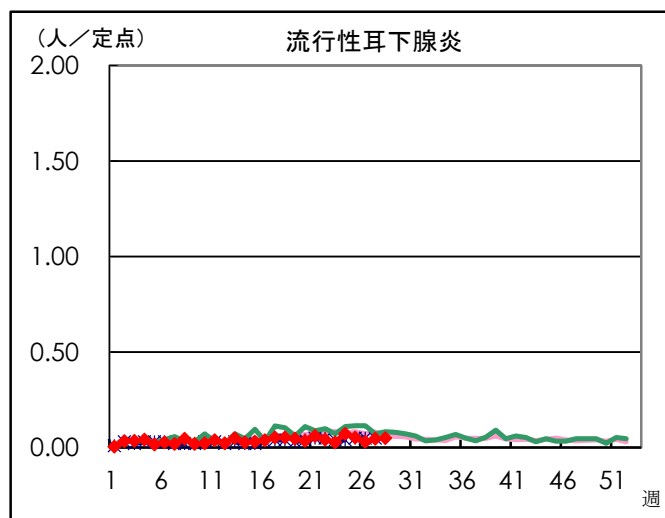
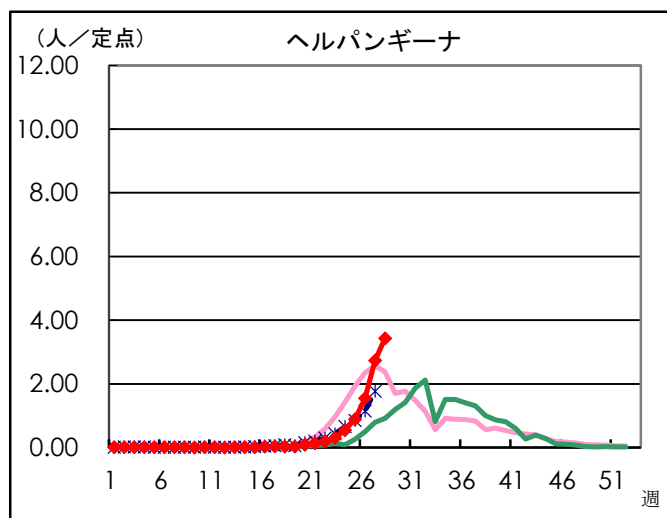
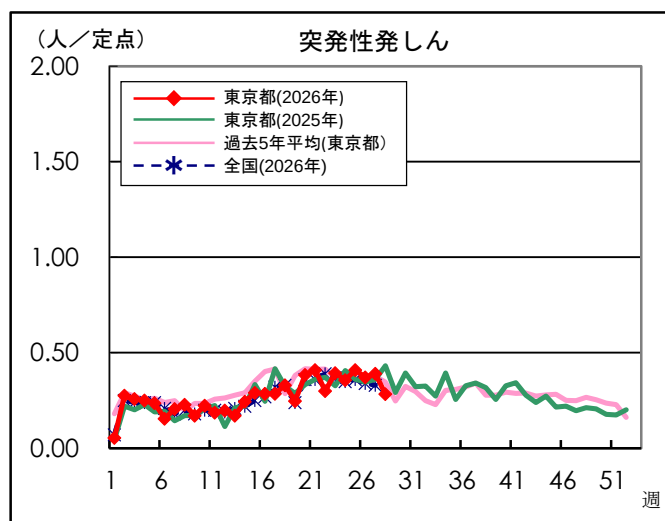
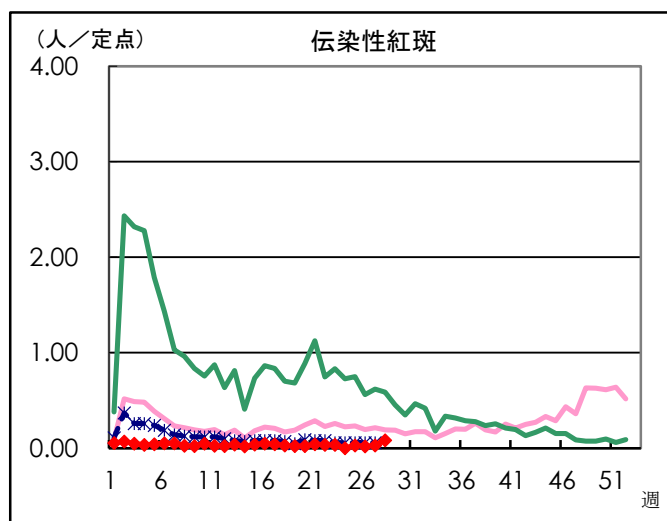
東京都合計	58	107	22,168		24		2	4	1		1	10
-------	----	-----	--------	--	----	--	---	---	---	--	---	----

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

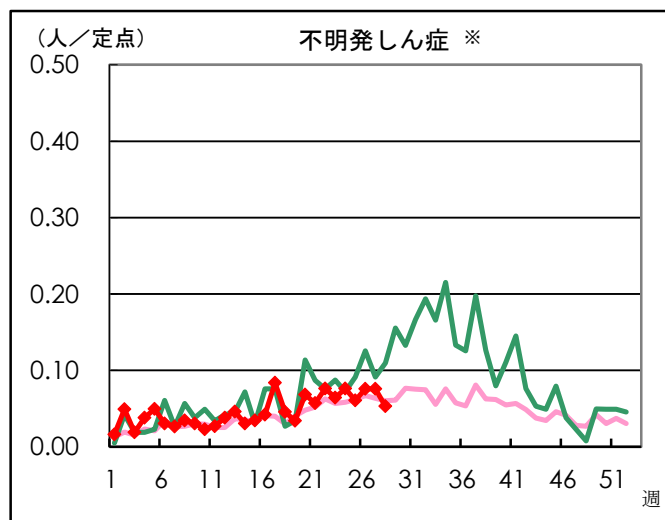
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2026年28週 現在)

◆小児科定点



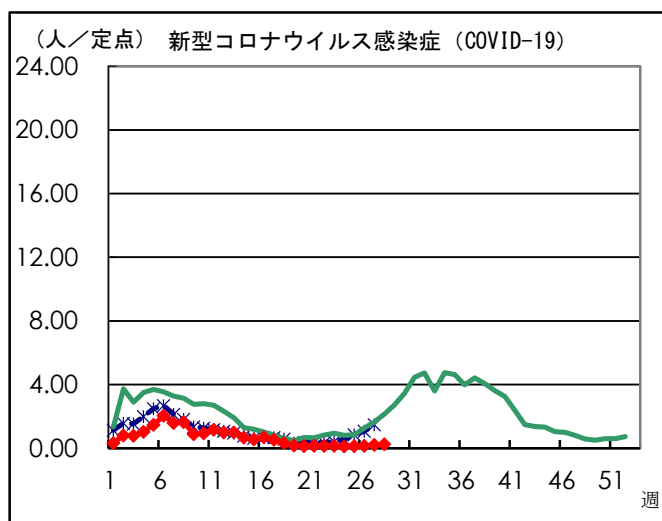
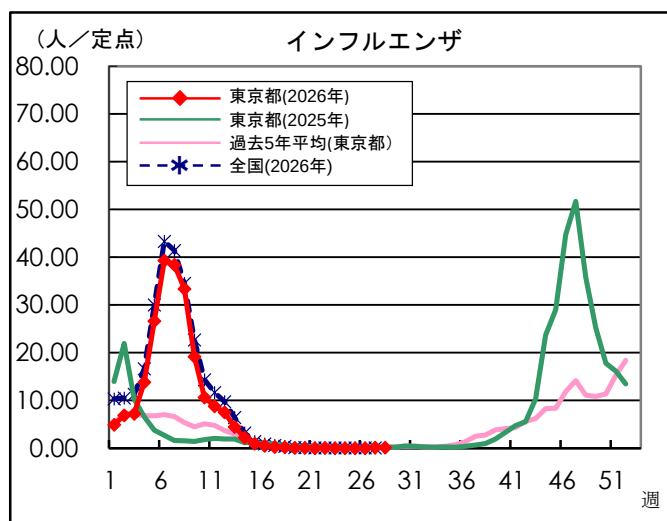


※ 東京都独自対象疾患

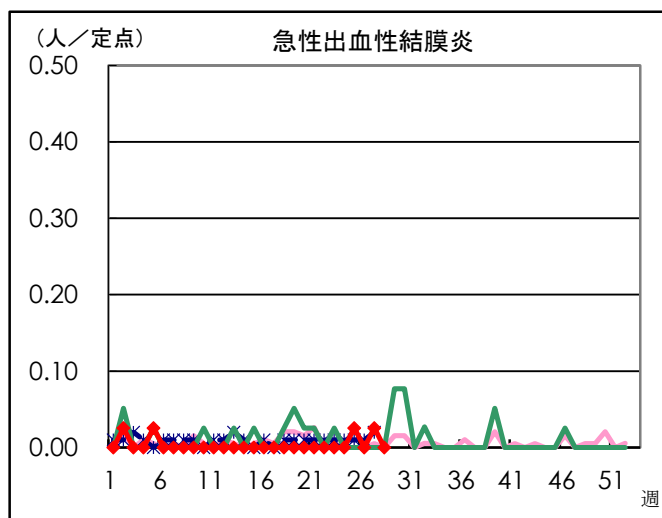
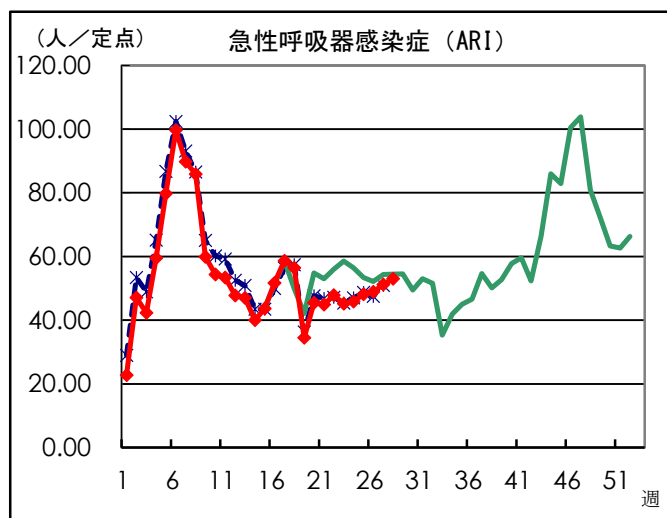


※ 東京都独自対象疾患

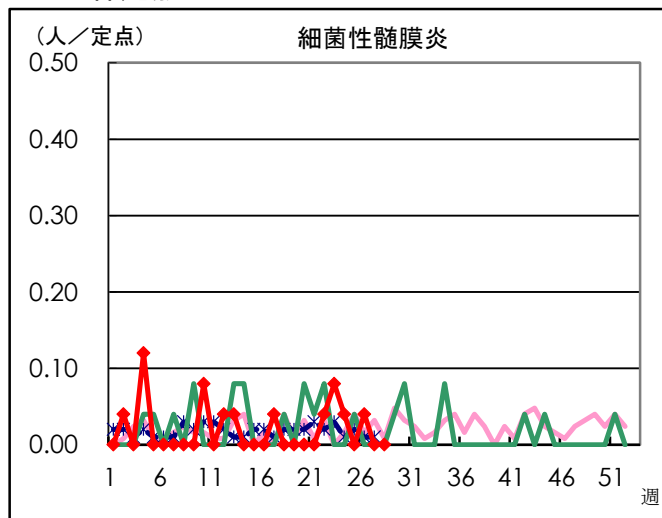
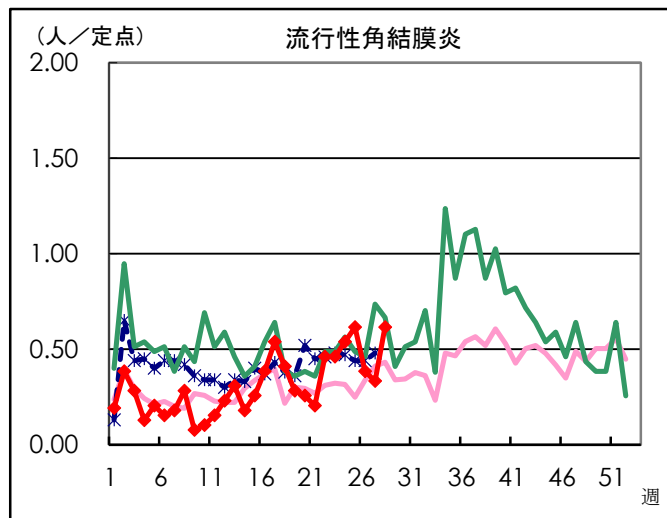
◆急性呼吸器感染症定点



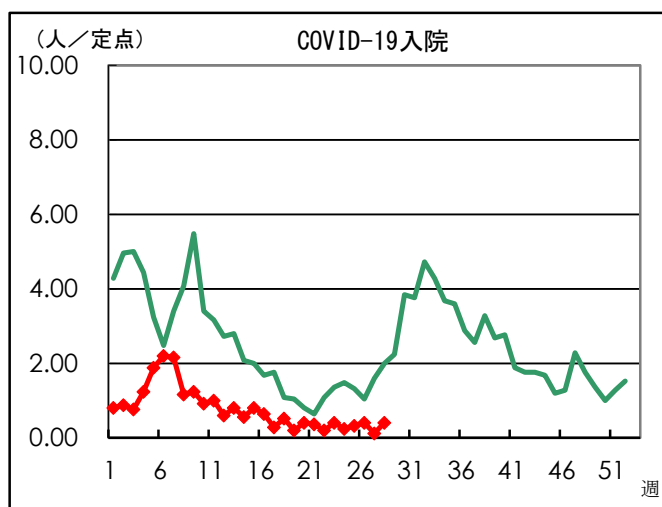
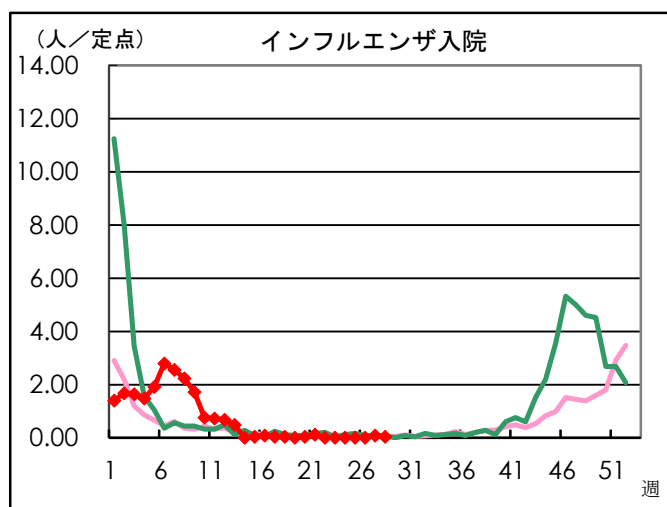
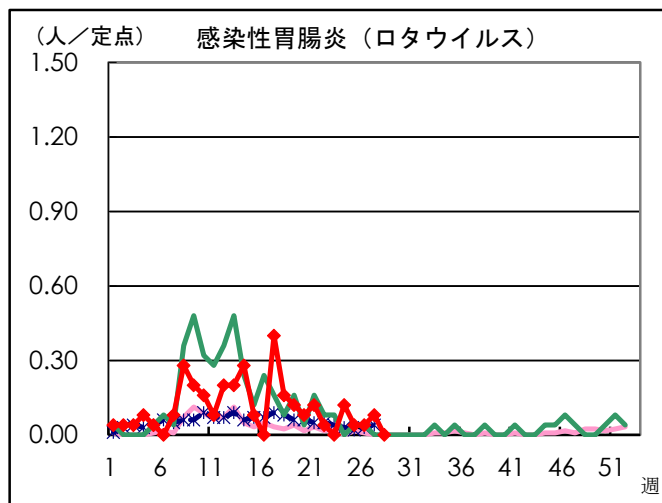
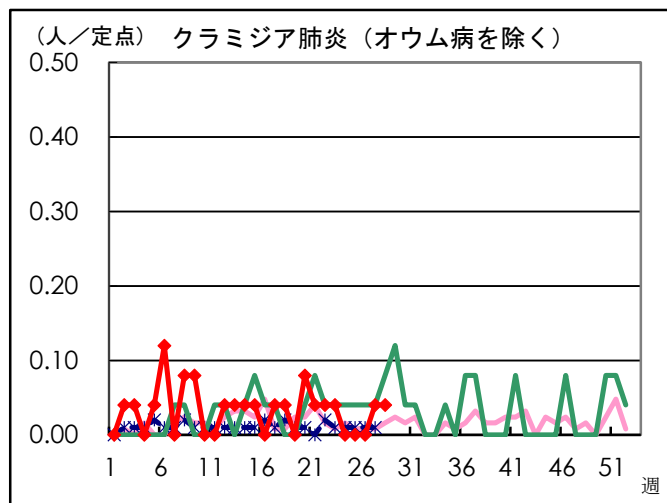
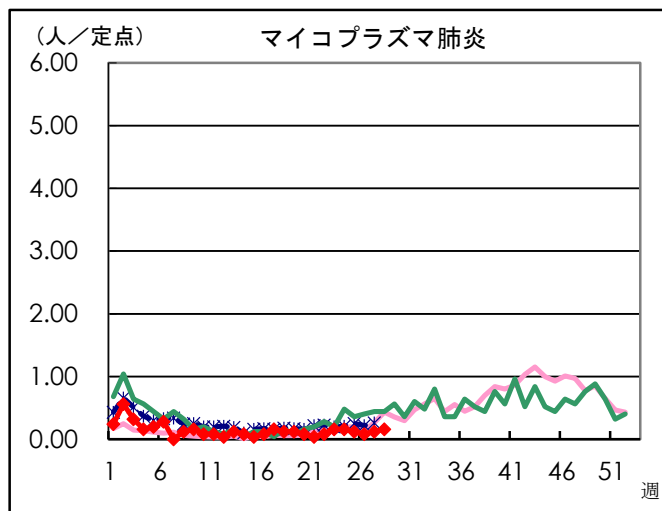
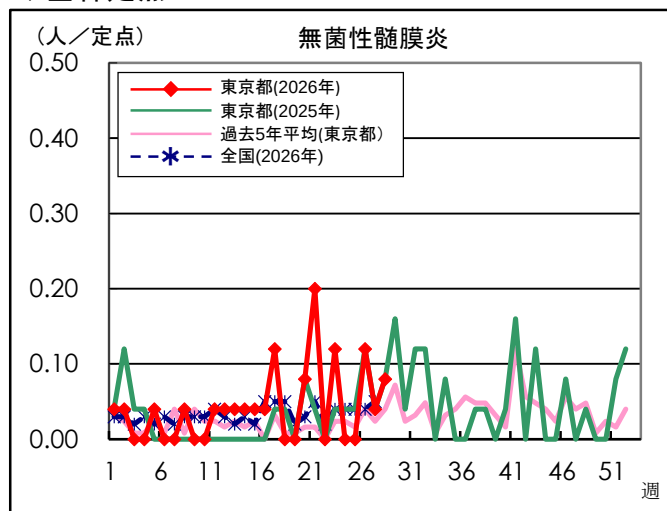
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
6/9	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T型別不能
6/9	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/9	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/9	急性呼吸器感染症(その他)	4	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
6/10	急性呼吸器感染症(その他)	54	鼻咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
6/11	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	SARS-CoV-2
6/11	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
6/11	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/11	急性呼吸器感染症(その他)	3	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型 ライノウイルス
6/11	急性呼吸器感染症(その他)	5	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/11	急性呼吸器感染症(その他)	40	鼻咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
6/11	急性呼吸器感染症(その他)	48	鼻咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
6/12	急性呼吸器感染症(その他)	30	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/12	感染性胃腸炎	11	便	A群ロタウイルス
6/13	急性呼吸器感染症(その他)	11M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/13	急性呼吸器感染症(その他)	21	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
6/15	新型コロナウイルス感染症	36	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
6/15	急性呼吸器感染症(その他)	7	鼻咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
6/15	急性呼吸器感染症(その他)	21	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
6/15	急性呼吸器感染症(その他)	42	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/15	急性呼吸器感染症(その他)	50	鼻咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
6/15	流行性角結膜炎	22	結膜拭い液	アデノウイルスD種
6/16	ヘルパンギーナ	3	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
6/16	ヘルパンギーナ	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	8M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	9M	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス ライノウイルス
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	9M	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型 ライノウイルス
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻腔拭い液	ヒトメタニューモウイルス
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス(型別不能)
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	6	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	6	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	17	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/16	急性呼吸器感染症(その他)	70	咽頭拭い液	RSウイルスB型

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
6/16	感染性胃腸炎	11M	便	アストロウイルス
6/16	感染性胃腸炎	2	便	アストロウイルス
6/16	手足口病	1	鼻汁	コクサッキーウイルスA群6型
6/17	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
6/18	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
6/18	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/18	急性呼吸器感染症(その他)	52	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
6/19	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型 ライノウイルス
6/19	急性呼吸器感染症(その他)	3	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/19	急性呼吸器感染症(その他)	5	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
6/19	不明発しん症	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
6/20	急性呼吸器感染症(その他)	11	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

25週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2026年25週				
2025-2026年 シーズン累計*	16	438	288	

* 2025-2026年シーズンの開始は第36週(2025年9月1日～)

※ この他、ワクチンタイプ(経鼻弱毒生ワクチン由来タイプ)がシーズン累計で6件検出された。

◇新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)のゲノム解析結果

採取週	系統*
19週	NB.1.8.1
20週	BA.3.2
22週	BA.3.2

採取週	系統*
24週	BA.3.2
24週	NB.1.8.1
25週	NB.1.8.1

* PANGO系統解析法による

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2026年							
	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
アデノウイルス	1	1	3	5	1	3	1	2
コクサッキーウイルスA群		1	3		4		6	7
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス							1	1
ライノウイルス	28	13	19	15	20	16	13	10
ヒトメタニューモウイルス	3	6	8	8	6	4	7	4
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1	1				2	
EBウイルス								
サイトメガロウイルス						5		
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	3		3	1	1			1
ノロウイルス	1		1		1			
ロタウイルス							1	
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09					1			
インフルエンザウイルスAH3亜型								
インフルエンザウイルスB型Victoria系統							2	
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)								
SARS-CoV-2	5	1	2		3		2	1
その他のウイルス	5	2	2	5	8	8	11	15
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型				1			1	
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1			1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型		1						
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1	1			1	
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2026年18週～2026年25週

	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	イン フル エン ザ	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症	急 性 呼 吸 器 感 染 症 (そ の 他)	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	流 行 性 耳 下 腺 炎	川 崎 病	不 明 発 疹	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎
搬入検体数	7	4	9	14	7	7	329	16	1	11	1	3	3		15		6		8		
アデノウイルス		2		2			9	1									3				
コクサッキーウイルスA群				6			5			8					2						
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス							1								1						
ライノウイルス	5	2		4	1		114			2					6						
ヒトメタニューモウイルス	1			1			44														
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型							1					2			1						
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																			5		
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	3			1			5														
ノロウイルス								3													
ロタウイルス								1													
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09					1																
インフルエンザウイルスAH3亜型																					
インフルエンザウイルスB型Victoria系統					2																
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)																					
SARS-CoV-2	1	1		1	1	6	4														
その他のウイルス		1		3	1		48	3													
A群溶血性レンサ球菌T-1型																					
A群溶血性レンサ球菌T-3型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			3																		
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2026年6月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	109	1.98	185	3.36	55	55
		女	76	1.38				
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	37	0.67	60	1.09		
		女	23	0.42				
	尖圭コンジローマ	男	38	0.69	53	0.96		
		女	15	0.27				
	淋菌感染症	男	39	0.71	54	0.98		
		女	15	0.27				
臈トリコモナス症	男	1	0.02	9	0.16			
	女	8	0.15					
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	29	1.16	54	2.16	25	25
		女	25	1.00				
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	3	0.12	4	0.16		
		女	1	0.04				
2026/7/9集計								

注. 薬剤耐性緑膿菌感染症は、2026年4月6日に全数把握対象疾患に変更された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹)報告数【年齢階級別】2026年6月

＜ 男性 ＞

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジロー マ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感 染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症
0歳						1	
1～4歳							1
5～9歳						2	
10～14歳							
15～19歳	1		1				
20～24歳	20	1	4	7		2	
25～29歳	25	10	9	7			
30～34歳	9	7	3	2			
35～39歳	17	2	4	3		1	
40～44歳	15	5	5	6	1		
45～49歳	14	4	2	8			
50～54歳	1	5	2	2		1	
55～59歳	6		2			1	
60～64歳		1	5	2		1	
65～69歳	1	1		2		2	
70歳～		1	1			18	2
合 計	109	37	38	39	1	29	3
先月比	7	9	9	-4	1		3

＜ 女性 ＞

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジロー マ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感 染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症
0歳							
1～4歳							
5～9歳							
10～14歳							
15～19歳	4		1				
20～24歳	22	5	4	4	4		
25～29歳	14	5	3	4	1	3	
30～34歳	16	5	1	2	1	1	
35～39歳	6		2	1			
40～44歳	4	1		1	1		1
45～49歳	6	1	1	2			
50～54歳	1	1	1		1		
55～59歳	2	1		1		2	
60～64歳		1	2			2	
65～69歳	1	1				1	
70歳～		2				16	
合 計	76	23	15	15	8	25	1
先月比	9	2	1	7	5	9	-1

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2026年6月

< 男性 >

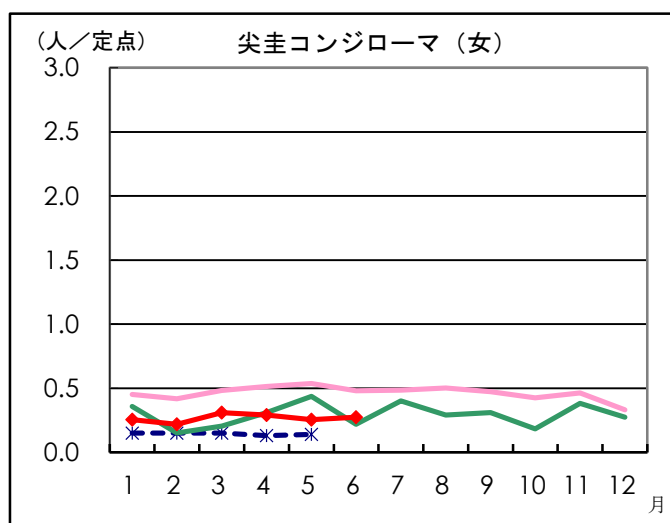
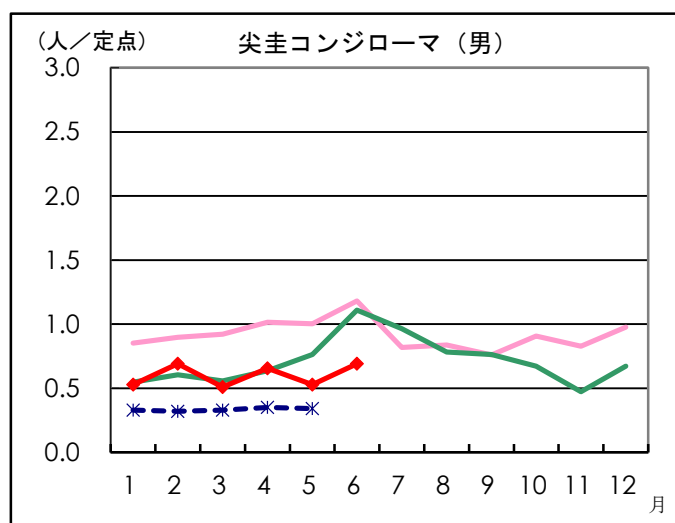
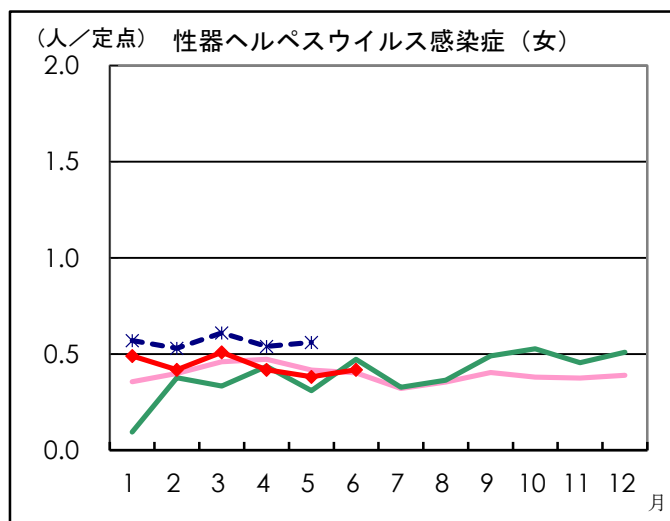
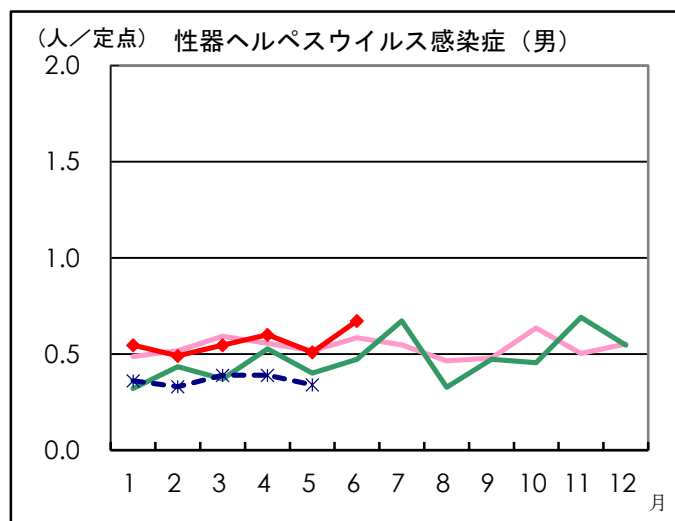
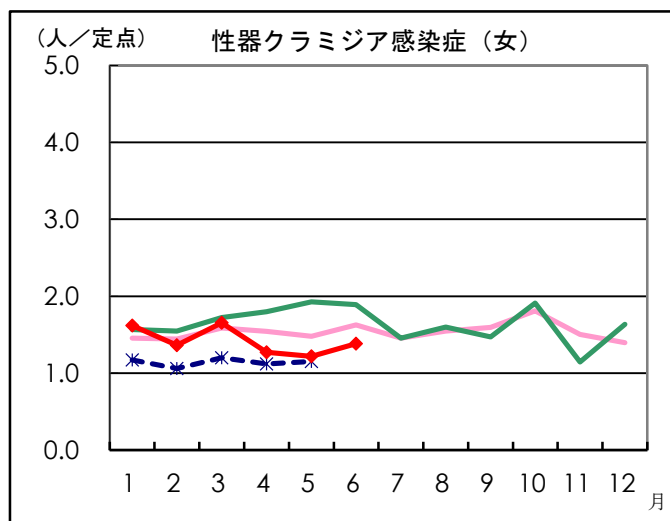
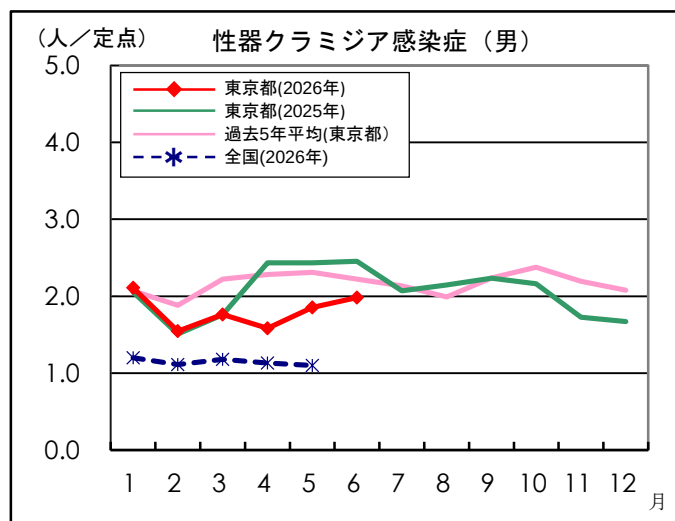
	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	総 計
千代田	2	1	1	1	2		5
中央区	3	2	6	2	1		11
みなと	2	10	6	7	4		27
新宿区	7	29	10	14	4	1	58
文京	1	5		1	2		8
台東	2		2		1		3
墨田区	2	2		1			3
江東区	2	4	4		3		11
品川区	1	40	3	5	9		57
大田区	2						
渋谷区	5	6	1	1	4		12
中野区	2	3			3		6
杉並	2	2					2
豊島区	3	3	3	2	1		9
北区	1	1		1	1		3
荒川区	1						
板橋区	2			3			3
足立	2				1		1
江戸川	2	1	1		3		5
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	109	37	38	39	1	224
定点当たり		1.98	0.67	0.69	0.71	0.02	4.07

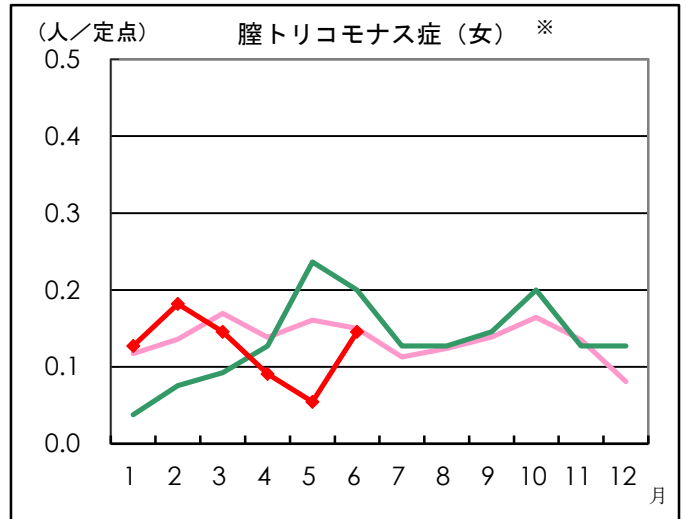
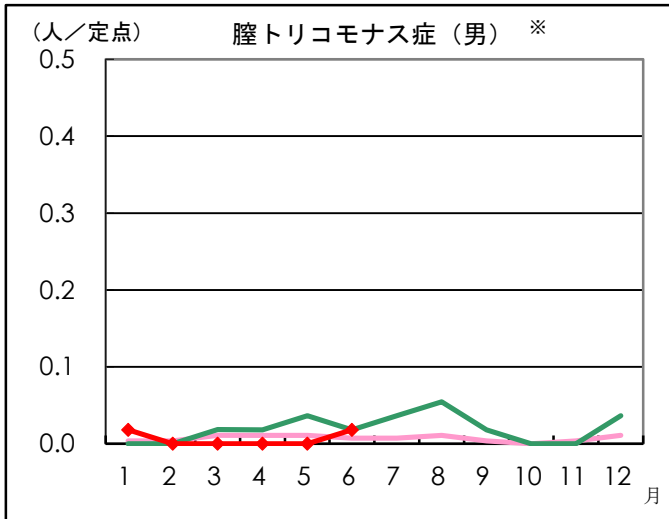
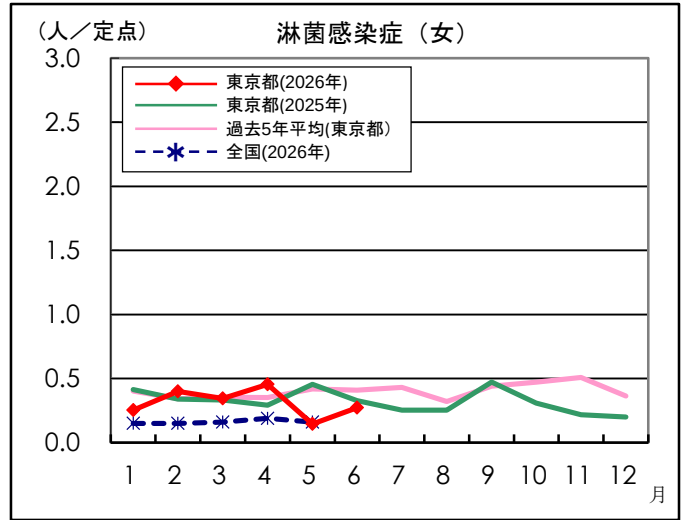
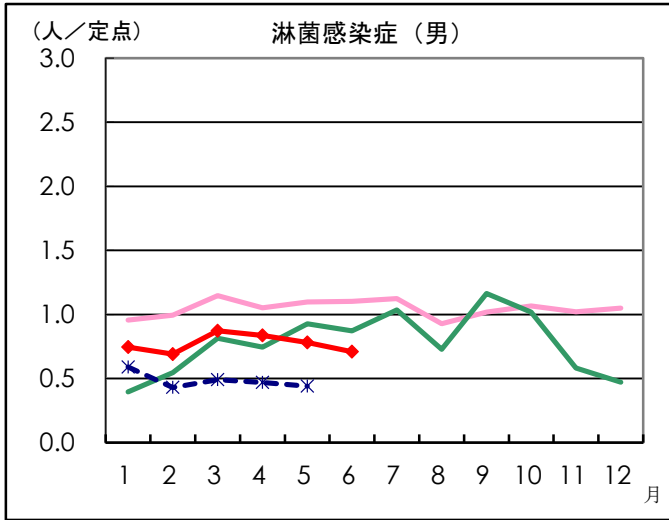
< 女性 >

	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	総 計
千代田	2						
中央区	3					1	1
みなと	2			1			1
新宿区	7	20	4	3	5	2	34
文京	1						
台東	2	8	1	5	4		18
墨田区	2	3		1		1	5
江東区	2						
品川区	1	16		1	2	1	20
大田区	2						
渋谷区	5	5	6	2			13
中野区	2					1	1
杉並	2	1					1
豊島区	3	3	4				7
北区	1						
荒川区	1						
板橋区	2	1		1	1		3
足立	2	1	2				3
江戸川	2	3	2	1	1		7
八王子市	4	11	2		1	1	15
町田市	1					1	1
多摩立川	2	4	2				6
多摩府中	3				1		1
多摩小平	1						
合 計	55	76	23	15	15	8	137
定点当たり		1.38	0.42	0.27	0.27	0.15	2.49

月報告 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2026年6月 現在)

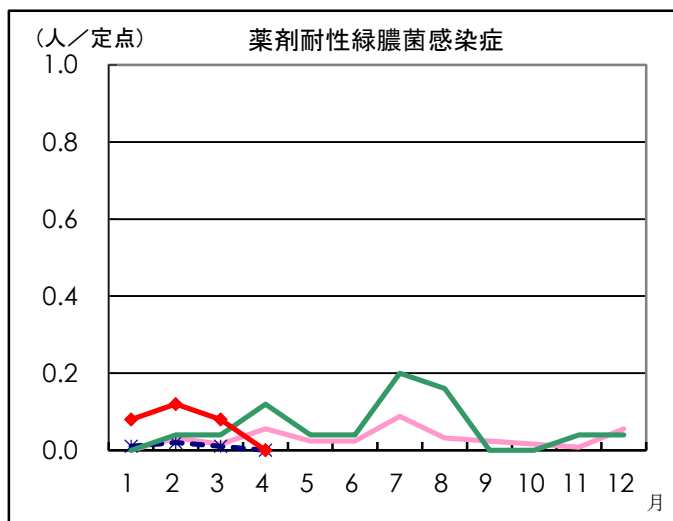
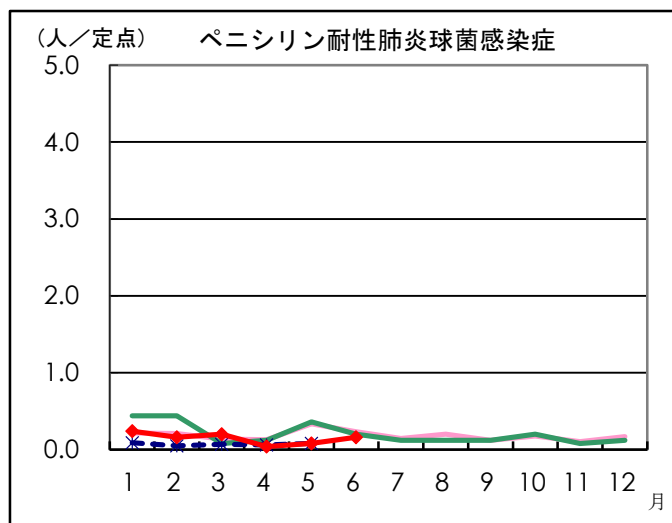
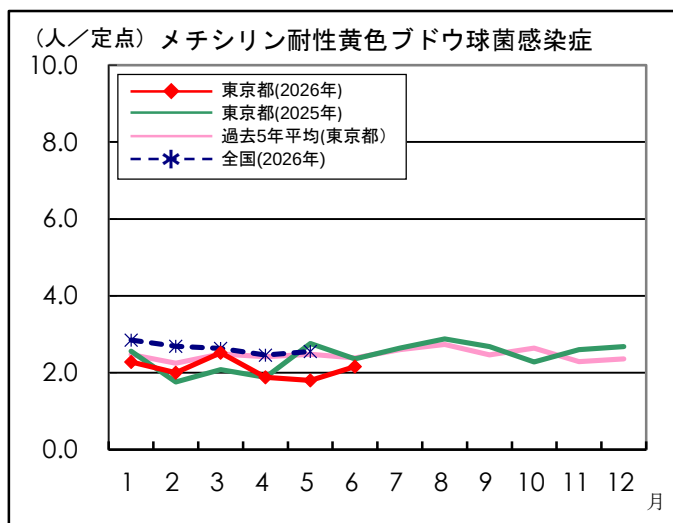
◆性感染症定点





※ 東京都独自対象疾患

◆基幹定点



注: 2026年4月6日より全数把握対象疾患に変更

定点医療機関から搬入された検体の検査情報(月報告)

採取日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
5/27	尖圭コンジローマ	59	男	皮膚病巣	ヒトパピローマウイルス6型 ヒトパピローマウイルス11型 ヒトパピローマウイルス(6,11,16,18型以外)
5/31	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	男	血液	MRSAコアグラーゼⅦ型
6/23	性器ヘルペスウイルス感染症	67	男	皮膚病巣	単純ヘルペスウイルス2型

<感染症豆知識>

動物への対策も求められる SFTS

(重症熱性血小板減少症候群)

SFTS (重症熱性血小板減少症候群 ; Severe fever with thrombocytopenia syndrome) は、主にマダニが媒介する新興ウイルス感染症で、近年は動物から人への感染経路にも注目が集まっている。これまで西日本を中心に発生していたが、2025 年には関東や北海道でも感染例が報告され、国内での拡大が懸念されている。患者発生の約 9 割はマダニ活動期の 4~10 月に集中し、日本での致死率は約 27% と高い。全患者の約 90% が 60 歳以上、亡くなった患者の多くは 50 歳以上で、高齢者は重症化しやすい。

SFTS ウイルスに対する感受性は動物種によって大きく異なり、多くの哺乳動物は不顕性感染であるがネコ科動物は非常に感受性が高く、重症化しやすい。SFTS ウイルスは自然界ではフタトゲチマダニ等が宿主で、マダニ間での垂直感染や野生動物を介した水平感染で維持されている。西日本でのシカやイノシシの抗体陽性率は 50% を超えるものもある。野生動物には数百匹のマダニが寄生し、抗体陽性動物に寄生しているマダニ間でも水平感染する。一方で、国内の野良猫や地域猫における SFTS ウイルスの抗体陽性率は、地域による差はあるものの概ね数% 以下で、比較的低い。これは感染した猫は高い確率で死亡してしまうためと考えられる。

猫の致死率は約 60% で、発症している猫の血液や体液には多量のウイルスが含まれるため、咬まれたり濃厚接触したりすることで人へ感染し、死亡した事例も報告されている。犬の多くは不顕性感染だが、発症すると致死率は約 40% と高く、犬から人への感染例も確認されている。

SFTS は感染症法では四類感染症として全数把握の対象となっているが、現在のところ動物についての届出義務はない。SFTS を発症した犬や猫から人への感染リスクが高いことから、タイムリーなリスク評価や啓発のためにも、犬猫の SFTS を、感染症法に基づく獣医師届出の対象感染症として指定することが望まれる。

(文責 東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻
感染制御学研究室教授 芳賀 猛)